

3 本時の学習（6／7）

- (1) 本時の目標
- ・ボールを操作できる位置に体を移動することができる。【知識及び技能】

・工夫したルールをもとに、チームに応じた簡単な作戦を選んだりしている。【思考力、判断力、表現力】

・勝敗を受け入れようとしている。【学びに向かう力、人間性等】
- (2) 準備 ソフトビニールボール 簡易支柱 簡易ネット わたしたちの体育 ふりかえり板 ホワイトボード タブレット
- (3) 展開

	学習活動	児童のつぶやき	言葉かけ・教え合い	核となる言葉かけ	教師の支援（○，吹き出し）と評価★
1 場の準備をする。（3分）					○キャッチバレーボールに必要な感覚を養うことができるようにする。
2 「レベルアップタイム」を行う。（5分） ・パスゲーム、投げ上げキャッチ、対面パス、対面アタック		正面でキャッチできたね（見）	下からボールをまっすぐはじけたね（見）	今まで見つけたコツを生かそう。	○レベルアップタイムでは、今まで見つけてきたコツを示し、意識させる。
3 本時のめあてを確認する。（5分）		相手コートに返すまでに、何回でもパスできる。（知）	ボールを投げ入れてもいい。（知）	ラッキーマンを決めて得点を増やす。（知）	○ホワイトボードに本時の活動を掲示し、学習の見通しを持たせる。
	みんながつないで、アタックしやすくなる、ルールの工夫は？				○『わたしたちの体育』や、前時までの作戦ボードを参考にして、作戦を選ばせる。
		工夫したルールをもとに、自分たちに合った作戦を選んで、楽しくアタックゲームをしよう。			○作戦の視点を明確にするように、ジャムボードに記入させる。
4 作戦を立て、アタックゲームを行う。（28分） ・作戦を立てたり、選んだりする。	みんながつないで、アタックするには、どんな作戦にしたらいいのかな。	ねらったところに、強く打ちたいな。（支）	相手のいないところに、ふわっと落とそう。（支）	はじく強さを工夫してみよう。	○作戦を意識してゲームを行うように促す。
				アタックしやすいように、ボールを高くトスしよう。（支）	○友だちにアドバイスしたり，励ましの声かけをしたりしている児童や意欲的に運動に取り組んでいる児童へ積極的に賞賛する。
			2人目は、ネット近くに移動して、パスをもらおう。（見）	どこに立てば、アタックまでつながりそうかな。	○作戦が上手くいっているかを尋ね、児童に考えさせるように促す。
			右利きが多いから、サーブをキャッチしたら右の人にパスしよう。（する）	ボールをキャッチしやすいように、ひろがろう。（見）	○盛り上げている声かけをしているチームや、児童同士でアドバイスを送り合っているチームを取り上げ、賞賛する。
				上手くいていたチームを参考にしてみよう	★チームに応じた簡単な作戦を選んでいる。【思考・判断・表現】
		ボールがつながらなかったから、別の作戦にかえよう。（支）	作戦が上手くいったから、次も同じ作戦でいこう。（支）		○作戦が上手くいかなかったチームには、作戦を変えてもよいことを伝える。
					★【知識及び技能】
					★勝敗を受け入れようとしている。【学びに向かう力、人間性等】
5 学習のまとめをする。（5分） ・学習のふり返しをする。		作戦を立てると、ボールがつながりやすかった。	強く打つときは、後ろの方をねらうと上手くいった。	ボールがアタックまでつながって点がいったので、嬉しかった。	○ふりかえり板の位置と、ジャムボードの作戦をもとに振り返りを行い、『わたしたちの体育』に書き込む。
					○次時のめあてを確認する。